



## 川・水編

水辺には多くの生き物がすみ、そこで豊かな命を育んでいます。今、日本各地の川が見直され、私たち人間にとっても心がなごむ大切な空間となっています。また、そこから大切な水を得ています。山口県にはいくつもの川があり、生活や文化と密接に結びついています。

近くを流れている川や水辺あるいは「水」について、遊びや調べる活動をとおして「自然」を素直に見つめ直すとともに、自分との関わりについて気づくことができるようにしていきたいと考えています。

### 1. 活動できる場所を探そう

山口県には多くの川があります。散歩するだけでも多くの動植物や美しい風景から、自然の豊かさを感じることができます。河川を中心とした水辺におけるいろいろな遊びや活動をとおして、河川の自然やその良さを感じとることができるような場所を取り上げます。

- (1) 小川 …………… 笹舟、風景、魚とり、水族館作りなど
- (2) 川の上流・滝 …………… 歩く、泳ぐ、流れ、ダム、ホタル、水生昆虫、野鳥、音など
- (3) 川原 …………… 魚、植物、ゲーム、小石、流れ、水量など
- (4) 河口 …………… 野鳥、どろ、満ち引き、カニなど
- (5) 用水路・水たまり …………… 水の地図、雪、氷あそび、どろんこあそびなど

以上のような場所を使用するアクティビティを用意してみました。

### 2. 何をどう取り上げて計画するか

#### 五感と心で

「見る」「触る」「臭う」「味わう」「聞く(聴く)」とともに、心で「感じ取る」等。(泳ぐ、釣る、流水や滝の音)

#### 遊びを取り入れて

自然への興味・関心を促す手だてとして、遊びやゲームを取り入れる。(石積み、どろんこ遊び、音探し)

#### もの作りの中から

自然物を造形素材として利用し、自然の豊かさ、多様さを感じ取る。(石で作る、笹舟づくり)

### 3. 「川・水編」で準備する一般的なもの

#### (1) 幼児・児童が準備するもの

鉛筆、クレヨン、バインダー、長靴、タオル、ハンカチ、ティッシュペーパー、軍手、スコップ、ナップサック、着替え等

#### (2) 指導者が準備するもの

アクティビティ集、ロープ、笛、マジック、色鉛筆、地図、トランシーバー(携帯電話)、ノート、ゴミ袋(大)、カメラ(デジタルカメラ)、双眼鏡、時計、図鑑、バケツ、救急箱、懐中電灯、拡大鏡(虫めがね、顕微鏡)、拡声器等……〈環境学習用として透明ケースに入れておくと便利です。〉

メガホン、呼子笛、救命具なども現場の状況に応じて準備

### 4. 安全への配慮を心がけよう

#### (1) 危険な箇所(淵、深み、流れの速い所)は避ける。

必ず引率者とともに活動する。

#### (2) 落石、小動物、ハチなどに注意する。

#### (3) 天候や季節に配慮するとともに、ダムの放流などに注意する。





# 川・水編

プログラム	アクティビティ	
1. 川に親しむ	① 川歩きって楽しいな ② 葉やささ舟を流してみよう ③ 川で音がし ④ のぞきめがねで水中さんぽ	K1-1-(1~2) K1-2-(1~2) K1-3-(1~3) K1-4-(1~4)
2. 川の生き物とあそぼう	① 生き物みつけた ② ザリガニつり ③ ミニ水族館をつくろう ④ 光のファンタジー	K2-1-(1~9) K2-2-(1~2) K2-3-(1~3) K2-4-(1~2)
3. 川原でゲーム	① 石の積み上げチャンピオン ② ペットボトルで魚とり ③ 川原の石っておもしろい ④ 川原の忍者をさがそう	K3-1-(1~2) K3-2-(1~3) K3-3-(1~3) K3-4-(1~3)
4. いろいろな「水」発見!	① 水をさがそう ② 水たまりでどろんこ遊び ③ 雪や氷は遊びのおもちゃ	K4-1-(1~5) K4-2-(1~2) K4-3-(1~2)

## 《アクティビティについて》

※各アクティビティの1ページ目は指導者用、2ページ以降は子ども用です。

※実施人数は指導者一人が担当できる、おおよその人数です。

※所要時間はアクティビティの実施時間で移動時間は含んでいません。

※バリエーションは指導者の工夫で行う、応用編にあたります。